

北海道マラソン 2024 と SDGs 農園プロジェクトを開始

～北海道大学札幌キャンパスで回収された落葉からできた腐葉土を活用～

【概要】

北海道大学サステナビリティ推進機構 SDGs 事業推進部門と北海道マラソン組織委員会は、「きたみてガーデン SDGs 農園（以下、SDGs 農園）」プロジェクトを開始しました。本プロジェクトは、北海道大学の札幌キャンパスで回収された落葉からできた腐葉土の利活用を通して、キャンパス内の資源循環の在り方について、本学の学生・教職員だけでなく地域社会とともに考えるものです。

北海道大学総合博物館の中庭に設置した SDGs 農園は、本学の教職員、北海道マラソン事務局及び本学学生を主体とした北海道大学総合博物館のボランティアグループ「きたみてガーデン」が造成及び管理を行うほか、食育の機会提供の場として保育園児が栽培体験を行っています。

今後、SDGs 農園で収穫された野菜は、北海道マラソン 2024 に参加するランナーの交流会「カーボローディングパーティー※1」のメニューのほか、本学総合博物館の「ミュージアムカフェぼらす」でも使用される予定です。

この取組は SDGs の目標 2「飢餓をゼロに」、目標 11「住み続けられるまちづくりを」、目標 13「気候変動に具体的な対策を」、目標 15「陸の豊かさを守ろう」、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与するものです。



SDGs 農園は総合博物館の中庭に設置



栽培体験をする保育園児

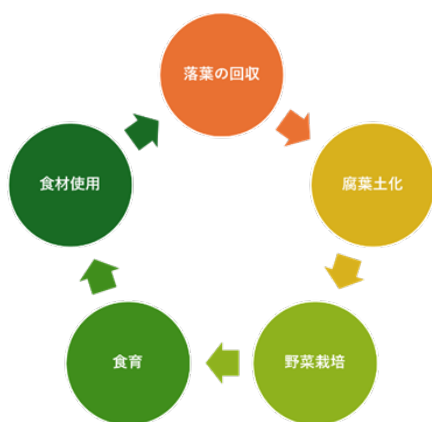
【プロジェクト開始に至った経緯】

北海道大学札幌キャンパスは、北海道マラソンの 2009 年大会からコースの一部として使用されています。北海道大学サステナビリティ推進機構 SDGs 事業推進部門と北海道マラソン事務局の両者は SDGs をテーマに、これまでの連携を更に深めることを検討してきました。本プロジェクトは、今後も北海道マラソンのコースとして使用する札幌キャンパスの持続可能性を高めることを目的に、北方生物圏フィールド科学センター札幌研究林・生物生産研究農場をはじめとして、きたみてガーデン、ミュージアムカフェぼらす、北海道大学総合博物館、北海道大学施設部の協力を得て実現しました。

プロジェクトの構成組織

企画: 北海道大学サステナビリティ推進機構、北海道マラソン事務局

協力: きたみてガーデン、ミュージアムカフェぼらす、北海道大学総合博物館、北海道大学施設部、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター札幌研究林・生物生産研究農場



プロジェクトのサイクル



昨年のカーボローディングパーティー

※1 カーボローディングパーティー

北海道マラソンの大会前日に行う、炭水化物のチャージとランナーの交流を目的としたイベント。今年度は 8 月 24 日 (土) に昼と夕方の 2 部制で各 80 名を定員とし、丸井今井札幌本店大通館 10 階「北海道ダイニング ミチノイエ」で開催する。チケットは 7 月 16 日 (火) から販売中 (先着順)。<詳しくはこちら→ <https://hokkaido-marathon.com/carbohydrate-loading/>>

お問い合わせ先

北海道大学サステナビリティ推進機構 SDGs 事業推進部門

T E L 011-706-4606 F A X 011-706-4884 メール sdg@facility.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.sustainability.hokudai.ac.jp/>

北海道マラソン事務局 (北海道新聞社)

T E L 011-232-0840 F A X 011-210-5734 メール shohei.katsuyama@hokkaido-np.co.jp

U R L <https://www.hokkaido-marathon.com/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課 (〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp